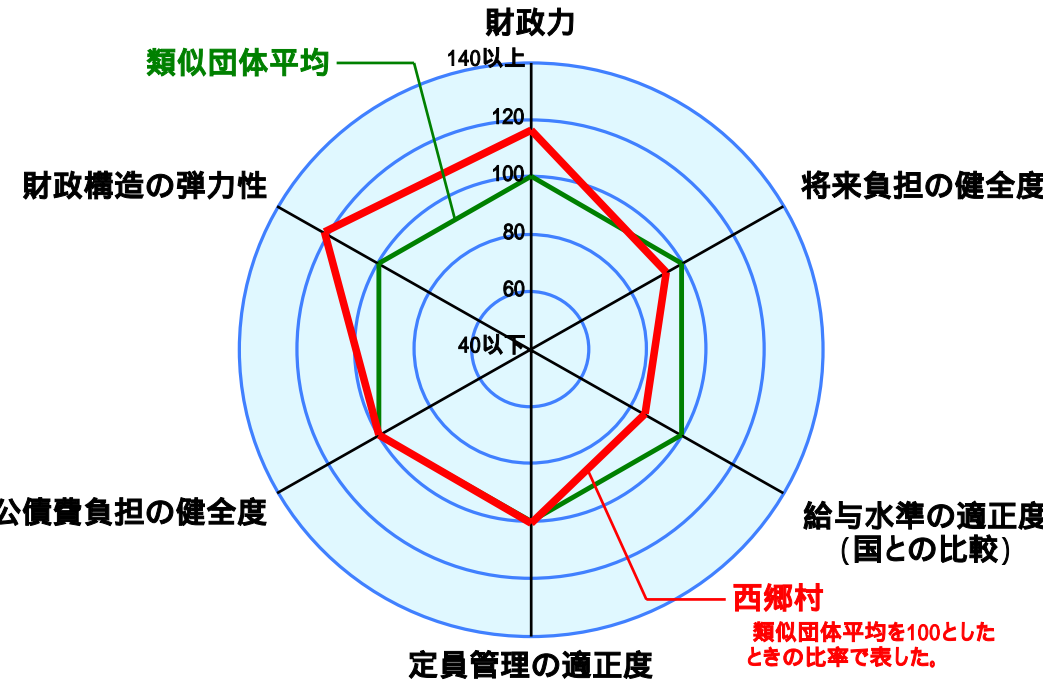
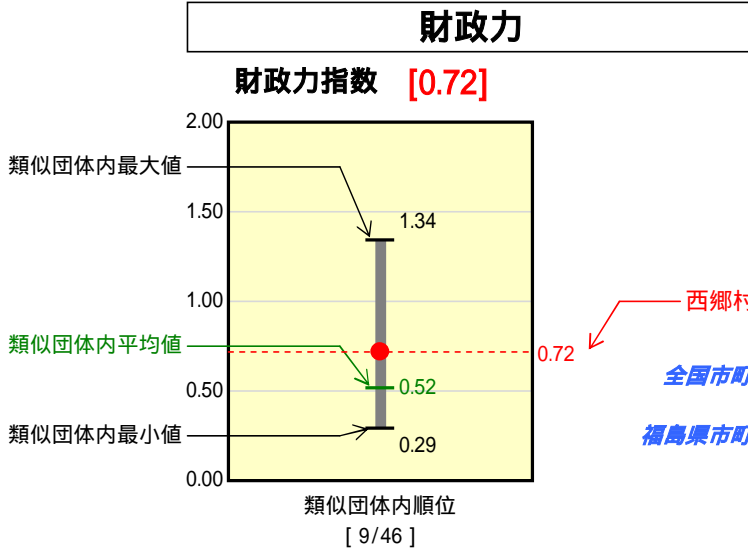


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福島県 西郷村

人口	19,306 人(H17.3.31現在)
面積	192.32 km ²
歳入総額	7,411,162 千円
歳出総額	7,266,512 千円
実質収支	144,650 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力指数】一部企業の業績向上等により類似団体平均を上回る税収があるため0.72となっているが、本村の場合、法人村民税が大規模企業の業績に左右されやすいことに加え、固定資産税についても駅周辺の大規模家屋の増加や工場増設による償却資産の増加など増加要因もあるが、大口滞納の増加や、評価額の下落など減少要因もあるため、今後は徴税の強化等、安定的な村税収入の確保に努める。

【経常収支比率】平成15年度より実施している繰上償還による公債費の削減(436百万円減)を図ったことにより、類似団体平均を下回っている。普通建設事業費(単独事業)が減っている一方、維持補修費が年々増加の傾向にあるが、ISO14001環境マネジメントプログラム目標に沿って主に需用費の削減に加え、平成15年度から実施の「西郷村財政健全化プログラム」(～17年度までに平成14年度対比90百万円の削減を目標とする)により引き続き経常経費の削減を図っていく。

【起債制限比率】類似団体平均と比べほぼ同じ数値となっている。今後については、ほ場整備事業(熊倉地区)や第二高踏切改良事業など実施予定の大型事業を最優先とし、単年度起債額をその年度起債額以内に抑えるなど、引き続き水準を抑えていく。

【人口1人当たり地方債現在高】平成10・11年度の災害復旧事業充当借入額が増加(424百万円)したため、11年度末現在高で80億円を超え、類似団体平均をやや上回っているが、その後新規借入額を抑制したことや繰上償還の実施により残高は減少している。

【人口1,000人当たり職員数】概ね類似団体平均であるが、集中改革プランに沿った事務事業の整理合理化等(14項目)により今後5年間で退職者の7割補充を基本に11人、6%の削減を図る。

【ラスパイレス指数】経験年数7～15年の階層で全体のラスパイレス指数に比べ10ポイント以上上回り、全体の比率を押し上げているため、昇格運用基準を見直すとともに18年中に人事評価制度を導入し、指数の上昇を抑えていく。

